

造形通信

2026. 7月
NO.86
ひいらぎこども園



乳児クラスの楽しい空間

北玄関を入ると、天井には天の川が流れ、その下にはいろんな野菜の間から子どもたちの顔がのぞいています。れんげ組の廊下には、壁面に素敵な飾りが出迎えてくれます。色の手型あり、コーヒーフィルターのにじみ染あり、素敵な造形空間です。

ダブルでやってきた台風も過ぎ去り、これからは夏の暑い日差しが待ちうけています。こども園ではプールが始まり、水しぶきが舞い、こどもたちのにぎやかな声が園庭に響きわたっています。園庭の木々の緑も色濃くなってきました。もうすぐしたら、蟬の声も聞こえてくるのでしょうか。夏だからこそできること、こどもたちと一緒に考えてみたいです。



色の氷の冷たさを感じながら、描いていきます



緑色のゼリーの色と感触が面白い



きれいな色水ができたよ！



絵の具皿の上に白布を入れたら染まった！

色と遊ぶ

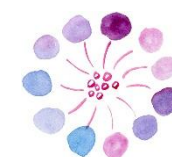
私たちの身の回りにはいろんな色があります。目に見える様々な色、自然が生み出す色、自分で作り出す色。いろんな色を自分で作ったり、触れたりすることは楽しい経験です。たくさんの色に触れたり、新しい色を作り出したり、私たちの周りに美しい色のある環境を常につくっていききたいですね。



画用紙の上にシャボン玉を置いて描いていきます



玄関ホールに何げなく置いてあったカラフルな花瓶！よく見ると、全部プラスチック！ちょっとあるだけで、雰囲気が違います！



はじめに染めた大きな布にこどもたちが摘んだアジサイの花びらや葉っぱを一枚一枚ちぎって布の上に並べていきます。そのあと、ラップを敷き、焙煎液を付けた布と一緒にラップ芯で布をしっかりと巻いていきます。次に、布を蒸し器で蒸して出来上がり！焙煎液のついた布と一緒に蒸すことで布の色がきれいな紫色に変わるということです。こんなことが年少のクラスで行われていました。素敵な経験ですね。「色の美しさ」「色が変化すること」はこどもたちにとっては、新鮮な驚きです。

自分たちが生活の中で様々な色に出会い、美しい色に囲まれていることはとても大切なことです。

